

野村直樹先生によるベイトソンセミナー 特別編 「協働するナラティブ - ベイトソンからナラティブ、 コラボレイティブへ -」

かの有名なダブルバインド理論で知られるグレゴリー・ベイトソンは、文化人類学者でありながらも、その研究領域は多岐にわたり、20世紀を代表する思索・思想家と言われ、家族療法やブリーフセラピーに多大な影響を与えました。そのベイトソンの論文を題材にして、野村直樹先生（名古屋市立大学）を講師とし、セミナー形式でベイトソンについて学び語り合うのが、「ベイトソンセミナー」です。

今年のベイトソンセミナーは、その特別編として、ハロルド・グーリシャンとハーレーン・アンダーソンによる「言語システムとしてのヒューマンシステム - 臨床理論発展に向けてのいくつかの理念 -」の論文を取り上げます。無知の姿勢、ナラティブ、コラボレイティブなどの新たなアイデアに溢れた本論文の影響は、多くの方の知るところとされます。野村先生いわく、「ベイトソンのナラティブ的展開」が本論文とのこと。論文の全訳を含めた著作「協働するナラティブ ハリー・グーリシャンと“無知の姿勢”」（遠見書房）が出版されることもあり、今年のベイトソンセミナーは、ベイトソンからナラティブ、コラボレイティブについて語り学び合うことをテーマとしました。この機会に是非一緒に、ベイトソンやナラティブの世界を体験してみませんか？

■日時

2013年9月23日(月・祝)

10:00~18:00

■内容:野村先生による講義・お話
⇒担当者によるレジュメ発表
⇒リフレクティングプロセスの手法を用いてのグループディスカッション
⇒全体を通してのまとめ(予定)

■会場:秋葉原ダイビル12階会議室 D・E(秋葉原駅徒歩1分です)
<http://www.daibiru.co.jp/tokyo/akihabara/index.html>

■参加費:一般7千円、学生5千円
(当日会場にてお支払ください)

■お申込み方法:下記メールアドレスに、お名前、ご所属、職種などを明記の上、お申込み下さい

shinrigijyutukenkyukai115@yahoo.co.jp

*1 なるべく課題論文となる「言語システムとしてのヒューマンシステム」を事前にお読み下さい。 in ハーレーン・アンダーソン/ハロルド・グーリシャン/野村直樹 著(野村直樹 訳) 「協働するナラティブ ハリー・グーリシャンと“無知の姿勢”」 遠見書房 2013

*2 ワークショップ終了後に、野村先生を囲んでの懇親会を予定しております。宜しければご参加ください。

☆セミナーの内容など野村先生に直接お尋ねしたいことがありましたら、下記アドレスまでご連絡ください

nomura@hum.nagoya-cu.ac.jp